

平成25年度第1回金沢市廃棄物総合対策審議会

会 議 録

日時：平成25年11月25日（月）
午前10時00分～11時30分

会場：金沢市西部環境エコプラザセンター
環境学習室

所管：金沢市環境局環境政策課

本件は、平成25年度第1回金沢市廃棄物総合対策審議会の会議録であることを
了解します。

平成25年12月10日

金沢市廃棄物総合対策審議会

会長 関 平和

平成 25 年度第 1 回金沢市廃棄物総合対策審議会 議事録

■日 時 平成 25 年 11 月 25 日（月） 10:00～11:30

■場 所 金沢市西部環境エネルギーセンター「環境学習室」

■出席者 別紙のとおり

■内 容 以下のとおり

環 境 局 長 委員の皆様におかれましてはご多忙中のところ、ご出席を賜り感謝申し上げます。また、日頃より本市の廃棄物行政にご指導、ご協力いただき重ねて厚く御礼申し上げます。

近年、廃棄物処理のあり方も「廃棄物の適正な処理」という従来の責務に加え、エネルギーの有効活用や、資源化の拡充による稀少資源の確保などというように多様化してきている。本市においても、昨年度完成した西部環境エネルギーセンターでは、ごみを焼却した熱を利用して発電し、年間約 3, 200 万 kWh の電力を電力会社に供給している。また、昨年より、家庭用の小型家電の回収を初めており、レアメタルの回収を進めるなど、資源確保のために、様々な取組をしている。本日の議題にも、新たな事業についての報告がある。

委員の皆様にはどうか忌憚のないご意見を賜れば幸いである。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 局

- ・委員の紹介
- ・欠席委員の報告
- ・出席委員数 13 名であり定足数を満たしていることを報告
- ・会長の推薦を求める
- ・委員より、関委員を推薦することについて提案
(全員了承)

会 長 昨年は、災害廃棄物の受入れについての審議が中心であったが、本日は、受入れ終了の報告ということで、みなさんのご協力があったおかげである。廃棄物行政については、近年「3R」という考え方が普及し、再使用、再利用や資源化を進めることが責務とされている。当審議会においても、市が進めるこれらの施策について、審議をしていくことになるだろう。よろしくお願い申し上げます。

本日の議事は報告事項が3件である。

審議は公開とし、傍聴を認めるということでよろしいか。

(異議なし)

特に、異議がないようであれば、このまま審議を始める。

それでは、まず、報告事項①の「災害廃棄物の受入れ終了について」事務局から説明をお願いします。

環境政策課長

資料1について説明

会 長

ただ今の説明を受け、ご意見、ご質問はないか。

委 員

モニタリングはいつまで続けるのか。

環境政策課長

浸出液、放流水、地下水の放射能濃度については、今年度中の測定は現行のままで、平成26年度4月以降は、地元の方の意見を聞きながら、測定頻度や期間について決めていきたい。モニタリングポストの設置についても同様に考えている。

委 員

今回の金沢市の対応について、すばらしかったという声をよく聞く。金沢市が他都市に先駆けて広域処理を実施したことで、金沢市の名が上がった。大変よかった。

会 長

では、次に報告事項2「資源ごみ協働回収事業～ストアーくる・ステーション～について」と報告事項3「生ごみリサイクル循環システム事業～“ベジタくる～ん”（愛称）の運用開始について」説明をお願いします。

リサイクル推進課長

資料2、3について説明

会 長

ただ今の説明を受け、ご意見、ご質問はないか。

委 員

電気式生ごみ処理機の性能は昔に比べよくなっているのか。
10年ほど前に自分が使っていたものは、性能がよくなかった。

リサイクル推進課長

昨年から本市施設で、約半年間にわたり、実際に使用してみた。
電気式生ごみ処理機には、主に2つの方式がある。乾燥分解するも

のとバイオ分解するものである。本市施設で使用してみたのは、乾燥式のものであったが、特に問題はなかった。

委員 ストアーくる・ステーションについてであるが、資料2では、東京ストアと三崎ストアの2社の店舗でとなっているが、他のスーパーでも規模の違いはあるが、資源回収をやっているが、他のスーパーに触れていないのはなぜか。

リサイクル推進課長 この2社以外は市の事業と関係ないためである。以前より資源回収を行っているスーパーがあった。これらのものは、処理費用が安いものに限っていることが多かった。市が主眼としているものは、家庭から出る資源ごみのうち、保管するのに場所をとる容器包装プラスチックやビンのようなものであり、これらは、これまでスーパー等では回収されていないものである。市としては、その保管の負担を軽減することを目的に、この事業を開始した。今のところ、これら2社以外の店舗には協力を得られないため、伸び悩んでいる。来年度は、市の南部方面の店舗の協力を取り付けて、幅広く実施したいと考える。

委員 南部方面の店舗でも資源回収をやっている店舗はある。世の中には、市の事業に協力する機運があると思う。ただ、ビンは割れやすく扱いにくいなどの問題もある。

リサイクル推進課長 この事業を開始してみて、スーパーに持ち込まれた容器包装プラスチックの量が大変多いことから、家庭では容器包装プラスチックの保管場所に苦勞していることが垣間見られた。容器包装プラスチックは、処理ルートが限られることから、どうしても自治体がやらなければならない部分である。

委員 スーパーなどでは、駐車場の一部のスペースでこうした資源回収を行っていることが多いが、その量の多さには驚くほどである。

リサイクル推進課長 これからも、スーパーに限らず、協力いただける店舗を増やして、資源回収を広げられれば良いと考えている。

委員 生ごみコンポストについてであるが、これは、ダンボールを購入しなければならないということか。

リサイクル推進課長 現在、ほがらか村では、ダンボールとコンポストの基材をセット販売している。このセットがあれば、簡単にコンポストに取り組めるよ

うになっている。また、校下婦人会などに協力してもらい、各校下をまわって講座を開催している。現在、約800世帯が取り組んでいる。こうしたことで、コンポストに慣れてきたら、自宅にあるダンボールを利用して、基材のみを購入して取り組んでもらえばよい。基材だけであれば、安く購入できる。

委員 以前から、緑色の堆肥処理用コンポストを使用しているが、そこから出たものをダンボールに入れて持ち込んでもよいのか。

リサイクル推進課長 それはお断りしている。ここで集めた堆肥は、野菜や花の栽培に利用するので、堆肥の質を重視している。また、有害なものが混じっていないようにしなければならない。生ごみを何でも持ち込んでよいというわけにはいかない。従来緑色の堆肥処理器は、堆肥を自家使用する農家など持っている人が限られていた。これをより多くの方に取り組んでもらうために始めたのが今回の新事業である。ご理解いただきたい。

委員 了承した。

委員 婦人会では、以前からコンポストの普及に努めてきた。しかし、中心部に住んでいると、土がないなどの理由で、コンポストには取り組めないという人がいた。このダンボールコンポストは、置き場所もとらないし、臭いもないことから、これはいいという声をたくさん聞いている。しかもこれまでは、できあがった堆肥の利用先を見つけるのに苦労したが、ほがらか村で回収し、商品券と交換してもらって、野菜などに交換できるということで、これはとてもよい循環のシステムであると思う。

リサイクル推進課長 10月20日より事業を開始して、これまでに50kg程度の堆肥が集まっている。この時期から畑をするという方はいないので、春まで保管し、春以降、野菜や花づくりに利用していく。

会長 本日の議事は以上であるが、議事に関する事またはそれ以外のことでご意見ご質問等ないか。

委員 先日、ごみステーションの当番に立っていると、窓に目隠しフィルムを貼ったライトバンがやって来て、金属を持ち去っていった。犯罪を犯すように、猛スピードでやって来て去って行った。学童の通学時間でもあるので、大変危険であると感じた。こうしたことにどのように対処したらよいのか教えてほしい。

リサイクル推進課長 資源ごみの持ち去りについては、市としても頭を悩ませている。我々も警察と一緒にパトロールしたり、捕まえたりしている。それでも、その合間を縫ってそうした行為は行われている。それもあって猛スピードでということになるのだろう。また、持ち去り犯の7～8割は外国人である。市民には、そのような行為を見かけたら、直接声をかけたりせずに、警察や市に通報してほしいとお願いしている。現行犯でないといふ捕まえることはできないので、パトロールのみでなく、他の対策が必要であると考えているが、今は、パトロールを強化しているということになる。警察も大変協力的で、各派出所にも連絡がいつているので、お近くの警察署、市のリサイクル推進課に通報してもらえれば、我々が対処する。

委員 白山市では、ごみ置き場をブロックで囲んで屋根もあって、持ち去れないようなかたちになっているものがあつた。金沢市内のごみステーション全部をそうするには、お金もかかるので無理かもしれないが。

リサイクル推進課長 ごみ置き場には、様々な形のものがあつて、強固なものもある。しかし、ごみステーションの管理運営は、町会にお願いしているので、それについて市が決めることはできない。また、街中では設置場所も狭小であり難しい。郊外であれば、そうしたものを設置し、鍵をかければ持ち去りにくいですが、鍵をかけるとごみの収集がしにくくなるのが問題となる。ごみステーションの対応だけではなかなか難しい。

環境局長 平成21年度より、条例で、ごみステーションからの資源の持ち去りを禁止している。その条例に基づき、条例違反の対応も決めてあり、確認書→警告書→命令書という段階を踏んだうえで、それでも違反する者に対しては、告発するという事になっている。罰金の規定もあり、警察と連携してしっかり取り締まりをしていきたい。市民の方が直接対処することは、大変危険なので、できるだけ警察や市に通報してもらいたい。

会長 その他のご意見・ご質問はないか。

委員 今後、高齢化と核家族化を背景に独居老人が増え、空き家が増えるだろう。空き家からは大量の廃棄物が出ると思うが、そうした問題に個人で対処することは難しい。市としての対策はあるのか。

環境指導課長 空き家の問題は、廃棄物のみではなく、防犯など様々な問題が絡む。廃棄物については、基本的には所有者や管理者が処分すべきであるが、空き家の場合は、所有者を特定できないこともあり、そうした場合には、町会に協力いただきながら、市で処分することもある。廃棄物問題に限らず、空き家については、様々な難しい問題があり、全国的にも課題とされているところである。

会 長 他に意見がないようであれば、本日の議事を以上とする。

事 務 局 長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。
最後に、今後の審議会の予定について説明する。

環境政策課長 1点目は、廃棄物処理手数料の改定についてである。
来年4月の消費税改定に伴い改定するものである。
2点目は、ごみの減量化目標や、減量化推進のための施策やごみ量に応じた適切な施設整備について定める「ごみ処理基本計画」についてである。平成27年が5年に1度の改定の年となることから、来年度の審議会で語りながら、策定をすすめていきたい。

事 務 局 これで、平成25年度第1回廃棄物総合対策審議会を終了する。

(別 紙)

平成25年度第1回廃棄物総合対策審議会出席者 (順不同、敬称略)

会長 関 平和 (金沢大学理工研究学域教授)
出村 昌史 (金沢大学医薬保健研究域医学系助教)
河内 久美子 (金沢学院短期大学副学長教授)
池田 啓一 (北陸大学薬学部講師)
山本 建夫 (金沢市町会連合会副会長)
能木場 由紀子 (金沢市校下婦人会連絡協議会会長)
井上 星奈 (「金沢のごみを考える」学生連絡会)
林 健治 (金沢商工会議所理事・事務局長)
松川 治彦 (石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)
福島 幸子 (金沢市一般廃棄物事業協同組合理事長)
横江 斉 (石川県環境部次長、
石川県環境部長 堀畑 正純委員の代理出席)
西元 修 (公募委員)
山家 善喜 (公募委員)

※欠席者

元林 秀夫 (金沢農業振興協議会会長)

(事務局出席者)

宮本 伸一 (金沢市環境局長)
蚊戸 進 (金沢市環境局担当部長兼リサイクル推進課長)
中村 悦郎 (金沢市環境局担当部長兼施設管理課長)
佐久間 悟 (金沢市環境局環境政策課長)
鹿間 哲 (金沢市環境局環境指導課長)
西川 信一 (金沢市環境政策課長補佐)
宮田 久美子 (金沢市環境政策課庶務グループ長)
水島 朋子 (金沢市環境政策課主査)